

# With

冬  
2006  
vol.35

## ウィズセンター情報誌

特集

ウィズフェスティバル2005開催

広がる未来 男女の知恵で共同参画

- 参画社会へ Let's Go! 青木弘人さん、檀上貴史さん、中川憲二さん
- メディアからの発信 片山美紀さん



「広がる女性の職場」<sup>たんじちづか</sup> 丹治千束さん（岡山市）

平成16年度情報誌表紙フォトコンテスト優秀賞受賞作品

ウィズ  
フェスティバル  
2005  
開催

テーマ

# 『広がる未来 男女の知恵で共同参画』

岡山県男女共同参画推進月間(11月)の行事として、11月20日～26日までの7日間、ウィズセンターを会場にウィズフェスティバルを開催しました。

力強い太鼓演奏で始まり、石井岡山県知事ほか、関係者によるテープカットのあと、うらじゃ踊りでにぎやかに幕をあげました。

また、開催に先立ち、11月8日に岡山一番街のイルカの広場でプレイベントを開催してウィズフェスティバルをPRしました。



ふじた傳三郎太鼓の皆さん



うらじゃ踊りの皆さん

## 実行委員長あいさつ

岡山県では男女共同参画社会の実現を目指す石井知事の強力なリーダーシップのもと、平成18年度以降の基本計画となる「新おかやまウィズプラン」の素案がまとまるなど、様々な施策が展開されています。その推進拠点であるウィズセンターも7年目を迎え、ますますの発展が期待されています。

とはいえ、全国的な逆風の中「女性副知事フォーラム」でウィズフェスティバルがスタートできたことは、21人の実行委員にとって、大きな励みと喜びでした。5人の副知事さんの熱心で、力強い活動状況を伺い、長年、共同参画に取り組んできたひとりとしても、確実に前進していることを実感し感慨無量でした。

さらに、テーマを「広がる未来、男女の知恵で共同参画」とし、各講演会では男性の講師を招き、演目も男性が関心の持てるものとしたためか、多数の男性に

参加していただきうれしかぎりでした。

全体を見渡すと私たちの力足らずの点もたくさんありますが、行政と県民が一体となって開催されるこのフェスティバルは、性別にかかわらず個性と能力が十分に発揮でき、互いの人権を尊重しつつ、喜びも責任もともにわかちあうことのできる社会を実現するための重要な一里塚であることを実感し、かかわることのできた巡り合わせに感謝いたしております。

最後になりましたが、ご指導ご協力いただいた多くの皆さまに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



ウィズフェスティバル2005実行委員会  
実行委員長 寺田 和子



# 「これからの地方自治と男女共同参画 ～ささえあい ともにつくろう 地域の未来～」

出席副知事

後藤 靖子 (山形県)

安藤よし子 (滋賀県)

佐村 知子 (京都府)

稗田 慶子 (福岡県)

内野 淳子 (岡山県)



フォーラムに先立ち、猪口邦子少子化・男女共同参画担当大臣からのメッセージ、太田房江大阪府知事からの映像によるメッセージ、欠席された坂佳代子宮崎県副知事からのメッセージが紹介されました。

## ●猪口邦子少子化・男女共同参画担当大臣メッセージ

男女共同参画社会の実現は、我が国の最重要課題であり、「暮らしの構造改革」という小泉構造改革の重要な柱です。国においても男女共同参画社会実現に向け取り組んでいるところですが、その実現には地方公共団体や国民一人ひとりが自らの課題と認識して取り組んでいただくことが必要不可欠です。

## ●太田房江大阪府知事メッセージ

少子・高齢化時代をむかえ、これからの地方自治においては、地方が自立して自らの政策にクリエイティビティを織り込んでいくとともに、そこに女性の意見を反映させていくことが重要です。女性副知事の皆さんには、このフォーラムを契機として、それぞれの地域で、地域主権の確立と男女共同参画社会の実現に向けた取り組みをさらに進めていただくよう期待しています。

## ●坂佳代子宮崎県副知事メッセージ

地域の未来は、女性も男性も、その個性と能力を十分に発揮し、「ささえあい、ともにつくっていく」ものです。全国各地の皆様方も連携しながら、男女共同参画社会づくりに向けた効果的な取り組みを進めていきたいと考えております。

## 地方分権推進について

**山形県：**地域のことは地域をよく理解した人が地域に合ったしくみを考えていく方がよいと考えてまして、地方が主体となって取り組んでいく必要があると思います。

また、行政だけでなく、官民がパートナーとして一緒に作

り上げていく必要があります。山形県は、「公益」に対する関心が高いという土壌がありますので、是非これを生かしていきたいと考えています。

**滋賀県：**地域ニーズに応じた施策は、現場をよく知っている地域で担う方が、オーダーメイド感覚で、より住民の満足度が高いものになると思います。

また、地域は国と違って小回りがきくため、世の中の変化への対応がしやすいなど、総合行政のメリットがよく出ているなど感じました。

また、行政がニーズに近くなればなるほど、当然人口の約半分を占める女性の声を幅広く聞く必要があると思います。

**京都府：**身近なことは身近なところでやるというのが自然な流れだと思います。

しかしながら、現実には自主財源は約3割しかありませんから、地方でできることを地方でやるためには、やはり「三位一体」のような改革が必要だと感じています。

では、そのような改革を進める上で何が必要かといいますと、民間でできることは民間に任せるなど、官民が連携した仕事をするのではないかと思います。

**福岡県：**最近は価値観の多様化に伴い、きめの細かい行政サービスが求められるようになりましたから、地方の文化、風土にあった行政が必要だと思います。そしてそのサービス実現のためには、生活者である女性の視点がかかせないと思います。

また、女性が多く関わっているNPOやボランティア等との協働のシステムも必要だと思います。

**岡山県：**県であれ、市町村であれ、住民の皆さんは自分たちの税金がどのように使われているのかということに関心があると思いますが、国と比較して、地方の方がよりそのプロセスに関与しやすいと思います。

地方が力を持つということは、男女に関わりなくその地域の住民が力を持つことです。住民の方々には、是非積極的に発言していただきたいと思います。

## 各府県の特徴ある取り組み

**岡山県**：県の男女共同参画の拠点であるこのウィズセンターは、指定管理者制度ではなく他の行政機関と連携するなど、様々な施策と密接に結びつくということで、県が直接運営しています。

そして、チャレンジ支援では、就業支援としてハローワークと密接に連携しながら最新の求人情報を提供したり、再就職や起業を目指す女性を支援しています。

**福岡県**：農業分野での女性の活躍が進んでいることが挙げられると思います。農協の理事などで活躍するほか、農産物の直売所などでも活躍されています。また、今後施策を進める上では、女性が多いNPO、ボランティアなどに関わっている方々と共に、協働のシステムを進める必要があると考え、現在取り組んでいるところです。

**京都府**：審議会委員や管理職への女性登用など、男女共同参画の推進に向け取り組んでいるところですが、30代の女性の労働力率が平成12年度の国勢調査では、全国39位と非常に低いことから、起業支援のセミナーの開催など、女性のチャレンジ支援についても積極的に取り組んでいます。

**滋賀県**：地域にどうやって男女共同参画を根付かせていくかを考えると、行政主導でなくて住民の方自身が動いてくださるというのが非常に重要だと思います。そこで今年、新しい事業として、県民からご提案いただいたアイデアを事業化する

「県民提案事業」を始めたところです。

**山形県**：地域には元気な女性はたくさんいて、非常に一生懸命活躍されているので、地域のトップ、あるいは企業のトップがこの方々の能力にもっと目を向けてもらえるようにしていくことが私の大きな仕事の一つであると考えています。

### ●ひと言メッセージ

**山形県**：地方には何も無いといわれますが、日本の地方には海外に通用する魅力があると感じています。ただ、その魅力をうまく発信できていないのではないかと思います。そして特に女性にはその情報発信能力があると思います。

**滋賀県**：人口減少で活力が失われていくかもしれないという不安を払拭するためには、地域や生活を見つめる目を持つ女性の活躍が期待されます。

**京都府**：地域は力を持っていますが、東京からはなかなか見えてきません。地方から積極的に情報発信していくべきだと思います。

**福岡県**：若い人は、能力・個性を十分発揮して欲しいと思います。また、女性は精神的・経済的に自立した女性を目指して欲しいですね。

**岡山県**：今年岡山は国体で盛り上がりました。そこで国体のキャッチフレーズを拝借して、職場、家庭、地域において男女共同参画を推進し、女性も男性も「あなたがキラリ！」と輝けるようにしていきたいですね。

2005年11月23日(水)実施

## 実行委員会主催講演会

# 「ともに 子育て 自分育て」

講師

ひろおか もりほ  
**広岡 守穂**さん

中央大学法学部教授、佐賀県立女性・生涯学習センター(アバンセ)館長

**プロフィール** 東京大学法学部卒業。専攻は政治学だが、現代日本の社会現象に幅広い関心を持ち、最近では女性の仕事おこし、子育てと子育て支援、市民のNPO活動を研究している。著書『豊かさのパラドックス』『男だって子育て』『女たちの自分育て』など多数。1991年ベストメン賞受賞。内閣府男女共同参画会議専門部会委員など。



## 男の子育ては後だしジャンケン

去年2人の孫が生まれました。娘が孫を連れて里帰りした時のことですが、とても辛そうな日があったので、私が1日子どもを預かって娘をひとりで休ませてやったことがありました。帰ってきたら娘は晴れ晴れした顔をしていました。現役の父親の時には気がつかなかったなあをつくづく思いました。いつも男の子育ては後だしジャンケンだという気がしました。

## 本当はひとりになりたかった…

子育て中のお母さんで、自分は子どもを虐待しているのではないかと悩んでいる人が2人に1人くらいいるという数字はどこか社会がおかしいんじゃないかと思います。

私は子育てって大変だとは思っていましたが。だから休みの日に家族みんなでどこかへ行って気晴らしをしたら、また一生懸命育児ができるだろう、それが一番いいと思ったので、いろんなところに行きました。ところが、後で、「半日でも1時間でもあなたが子どもを預かってくれてひとりにして欲しかった」と妻に言われてびっくり仰天しました。よもや1人になりたいなんて夢にも思っていませんでした。また、彼女自身は、女性なんだからちゃんと子育てができなければいけないんだと思い込んでいました。これがいわゆるジェンダーです。性別役割分業意識と言われる問題です。自分は子育ての時期に大人になったなあという感じがしています。

## 自分育ては悶々と

これまで「彼女が社会の風に当たりたい」とか、「このま

までは干からびてしまう」とかこぼしていたのは、子育てが大変だからだと思っていました。それがどうも間違っていたと、その時初めて思いました。ふっと思ったのは、『自分育て』という言葉でした。子育てに一生懸命になればなるほど、どうしても自分育てがおろそかになる。この人は何とも言えない不安を感じていたんだと、自分育てがどうしてもままならないので自分をせめていたんだと思いました。

もし妻が自分育てをしたいと思っていたら、真っ先に夫がそれをバックアップしなかったら、一体誰がするんだろうと思ったわけです。私は自分で自分の運命を切り開いてきた。誰にも迷惑はかけてないと思っていました。ところが、その誇りがガラガラと崩れてしまいました。誰にも迷惑かけてないどころか、自分が一番大事にし、その人と手をつないで人生の最期までちゃんと歩いていくと決めた一番大事なはずの人に、とても大きい重荷を担わせておいて、そのことにちっとも気がつかなかったんじゃないか、そう思って何とも言えない気持ちでした。その日を境に考え方がらっと変わりました。

## 男女共同参画はお互いの自分育てを支えあうこと

男女共同参画はまことに簡単です。妻が夫の、夫が妻のお互いの自分育てを支え合っていくことです。職場であれば、勤めている職員の自分育てにきめ細かな配慮をしなければいけない、一人ひとりの市民に対して、公平に自分育てのチャンスを提供する、これが男女共同参画です。人間は誰もが1回だけのかげがえのない人生を歩んでるのですから、男だから、女だからとかの理由で自分育てのチャンスを奪ってははいけません。同じように年をとり過ぎた、障害があるから、外国人だからという理由で自分育てのチャンスを閉ざしてはいけません。デモクラシーの何か深いところに根差している問題だと思うんです。人間の尊厳とか生きることの大事さとか、そういうことに根差している問題だと思います。だから、国は男女共同参画社会基本法の中で、「21世紀の最重要課題」と言い切っているわけです。デモクラシーの問題だということを踏まえたポリシーだと思います。



## チャレンジしないと物事は始まらない

私は佐賀県のアバンセの館長をしていますが、子育て中のお母さんたちのチャレンジセミナーという託児付の講座は人気があります。本人が自分の力で漕ぎ出して、自分の力でちゃんとつかみにいかなければ、物事は始まらないのです。

妻の仕事が始まり、少しずつ夫婦の関係が変わってきました。一番決定的だったのは、私は赤字になるからと反対したのに、金沢で演劇の公演をするために実行委員長として奔走し、成功させたことでした。彼女に「尊敬」の感情が込み上げました。

## 親として子どもの生き方を認める

長女が「会わせたい人がいる」と男性を連れて来た時、「娘の生き方は守ってやってほしい」と言いました。私は、農業をしている娘に何か教えられたなあという思いがしています。人間の本当の値打ちは自分の志を立て、一步一步自分で足を踏みしめてきちっと人生を歩いていくことだと思っていました。

## 孫が生まれて人生を振り返る

長男夫婦に孫が誕生して自分の人生を振り返りました。一番大事なことは、大切な人との関係です。人間は自分をちゃんと見つめてくれる人、認めてくれる人が必要なんです。そしてその人との関係が親子であれ夫婦であれ友達であれ同じ水平な目線でお互い手を取り合って認め合い、求め合う、そんないい関係をつくっていく、これが男女共同参画です。私はそう信じています。

● 11月20～26日まで各登録団体主催で自主企画、イベントが開催されました ●

### 漫才と講演会 知っておくと安心な法律 ～相続・遺言・カード管理・後見人制度～

11/26

漫才 さっちゃん・ともちゃん 講演講師 酒井 満太さん(弁護士)



高齢社会の中、私たちが安心して暮らしていくためにはどんな法律や制度があるのか、などについて、はじめに漫才で楽しく問題提起をしてもらい、次に専門である酒井弁護士

にお話しいただきました。

会場からは、自分が今関わっていることや、後見人制度などについて活発な質問や感想が寄せられ、改めてこのテーマへの関心の高さを実感しました。

(主催：実行委員会)





## 講演 テレビコマーシャルの女と男 ～メディア・リテラシー入門～

11/20

講師 おがわ まちこ 小川真知子さん (西宮市男女共同参画センター専門職員)

CMを見ながら、現代日本の現状をメディア・リテラシーの手法で読み解き、男女共同参画社会の実現への一助を探りました。



現実のコマーシャルはまだ固定的な性別観が何気なく散りばめられており、各人が「これは変だ！」とメディアに声を挙げないと変わらないと実感しました。「商品説明は男の声、子どもと女は目をひくため」というCMが大半、これでいいのでしょうか……

(主催：岡山さんかく会)

## 朗読劇 男女共同参画社会をめざして ～あなたの家庭は？ あなたの地域は？～

11/22

出演 津山地域男女共同参画活動推進センターの皆さん

身近にある男女共同参画社会づくりの問題点を、家庭編、地域編に分けて「皆さんの周りではどうですか？」と会場に問いかけました。



家庭編の“娘のパートナーの食事づくり”では、大きくうなずき「我が家も実践しています」という意見が多かった一方、地域編の“女性の地域活動への参画”は、色々な悩みが聞かれ、解決にはまだまだ時間がかかりそうなことがうかがえました。

そこで、「どこでも誰でも参加できる手軽な『朗読劇』を、もっと色々な場所で、もっと色々な人に、もっと色々な場面について語りかけることで、男女共同参画社会づくりを進めていきましょう！」と励ましの声をいただいて、新しい目標ができました。

(主催：津山地域男女共同参画活動推進センター)

## ワークショップ 中国茶を体験してみませんか

11/22

講師 りゅう えいし 劉英姿さん (中国茶芸師)

講師の劉英姿さんは岡山大学大学院の留学生として来日されました。中国国家認定茶芸師の資格があり、日中の文化交流の担い手として活躍中です。

中国茶の種類や作法、飲み方について実際に体験しながら学びました。茶器の準備の都合上、定員25名と限定していましたが、多くの参加希望があり、話を聞いただけの人もありました。アンケートでは「気持ちが癒された」とか「体験型ワークショップがよかった」などの意見をいただきました。



(主催：14期岡山県女性のバス)

## お茶席

### お抹茶でほっとひと息

11/23

昨年に続いて喫茶コーナーとして抹茶席を担当しました。サロンの一角に掛軸と花を飾って床の間の雰囲気を作り、会員の一人が習った手作りの和菓子(煉切りとじょうよう饅頭)でおもてなしました。



50名以上の方に「ゆっくりしたひとときが過ごせた」と喜んでいただき、私たちもほっとしました。

(主催：岡山市女性大学三期会)

## トーク 生活の色整理しましょう！

11/24

中山 なかやま れいこ 怜子さん (色彩アーティスト)  
講師 みようちん みえこ 明珍美江子さん (カラー、インテリアコーディネーター)  
みづたに ようこ 水谷洋子さん (フラワー、ニット講師)

色彩にこだわるのも自己表現の一つなので、今回は講演という形式を取らず、3人の講師のトークで話を進めていき、参加して下さった方々も加わって楽しい場にしていきたいと考えていましたが、自由に参加者の方々から話を引き出して交流するまでには至らず、質問や疑問もお聞きできなかったのが少し残念でした。(会場の机のレイアウトが遠すぎたのかも……)しかし、終了後、参加者の方々から色々質問やお話があり、楽しんでいただけたものと思えました。

(主催：日本色彩福祉協会)



## ワークショップ 幸せを育む人間関係

～温かさや思いやりが伝わる関係を築くには～

11/25

講師 はせお ひろえ 萩尾寛江さん (日本選択理論心理学会 選択理論心理士)

相手に物事を伝えるためには言葉だけでなく、声のトーン、顔の表情など身体全体によるものも大きな要素です。幸せを育む人間関係を築いていくためには、食べる・眠るなどの生存の欲求や、愛し・愛されたいという愛の欲求など基本的欲求を満たしたり、ものの見方を多方面から見ていく必要があります。相手の悪いところだけを見るのではなく、良いところを見ることも大切だということなどを体験を通して考えていただきました。参加して下さった方からは、スムーズに人間関係を築いていく参考になったとの感想もいただきました。



(主催：CTクラブ)

## プライベート



11/8

岡山一番街のイルカの広場で、フルート・大正琴・オカリナの演奏や、フラダンス、フォークダンス、銭太鼓、笠踊り、手踊りを、また、演奏や踊りの合間にはバルーンアートで盛り上げるなど、にぎやかにプライベートを行い、ウイズフェスティバルのPRをしました。

## パネル展示

【出展団体】

- 岡山女性フォーラム
- おかやま女性国際交流会
- 世界女性会議岡山連絡会
- イーブくらしきネットワーク
- CTクラブ
- 外国人入国在留申請相談センター
- ウイズセンター

11/20

11/26



## 登録団体交流会

11/26

ウイズセンターの登録団体の中から24団体の皆さんが参加され、交流を深めました。

それぞれの活動状況を発表したり、イベントの案内を行ったりしました。

実行委員報告では、事業部、広報部、交流会部の各担当部長さんが、実施した事業内容を発表し、「実行委員は楽しいので来年は是非応募してください。」と呼びかけました。



みんなでウイズソングを合唱

## 実行委員名簿

氏名	所属団体
出井 節子	東備セミナー
浦上 量代	御津女性学級
大月 基史	メンズリブフォーラム岡山
岡村咲津紀	いかさ女性セミナー
金谷 安子	イーブくらしきネットワーク
川上紀代子	岡山女性フォーラム
川上能婦子	イーブくらしきネットワーク
木川 秀夫	岡山さんかく会
坂根阿喜子	14期岡山県女性のバス
三近 光	手づくりミュージカルドラネコ座
須崎貴美子	おかやまライブ21ネットワーク
土屋 瞳	男女共同参画フォーラム2000まび
寺田 和子	岡山さんかく会



(50音順 敬称略)

氏名	所属団体
寺脇 孝子	岡山地域男女共同参画活動推進センター
中桐美和子	岡山市女性大学三期会
西平 幸代	岡山地区労働組合協議会
萩尾 寛江	CTクラブ

氏名	所属団体
船着 淑子	岡山地域男女共同参画活動推進センター
松田千賀子	おかやま女性国際交流会
万代 寿代	おかやま女性国際交流会
山本 敬子	おかやまエコマインドネットワーク



# 参画社会へ Let's Go!

## ～わが子との かけがえのない時間～

1992年（平成4年）に父親も母親も取れる育児休業制度が整備されました。

厚生労働省主催の平成17年度ファミリー・フレンドリー企業表彰で岡山労働局長賞を受賞した倉敷医療生活協同組合（従業員数約1,000人の病院を含む29事業所を運営）に、それぞれ事務職（受付業務等）、専門職（発達相談心理士）として勤務し、育児休業を取得した3人の男性にお話を伺いました。

### 子どもと過ごした貴重な時間

**中川** 子どもが生まれてから、自分自身のリフレッシュという意味も含めてぜひ育児休業を利用しようと思っていました。職場には男性職員が育休を取得した例があり、雰囲気は整っていたということもあります。子どもが11カ月を過ぎた頃から1カ月間利用したのですが、ミルクを作ったり、一緒に遊んだり、子どもとの時間が持てたことが何よりも良かったです。



中川 隼二 さん

皆さん口をそろえて「育児休業は絶対にとってみるべき！」と言われました。親として成長するためにも子どもとの時間は大切であるし、子どもにとっても父親と過ごす時間は貴重だと言います。人間としての幅が広がるというのが育児休業を利用してみての実感のようです。しかし、たとえ1カ月でも仕事場から離れるという不安がなかったわけではありません。給与保障や職場復帰のことを考えると、育休を取ることは自分自身の意識との戦いであったとも…。職場と家庭の両立支援担当の亀山さんは、企業努力の限界を指摘しつつも、育休を利用した職員がスムーズに職場に復帰できるようなプログラムも考えているそうです。

### 慣らし保育で育児のコツを習得



檀上 真史 さん

**檀上** 二人目が5カ月半のときに保育園に預けるまでの1カ月間を利用しました。慣らし保育に連れて行き、保育士さんからいろいろと教えてもらい、おしめ交換なども抵抗なくできましたが、どうして泣いているのかわからなかったり、することがいくらかでもあり、時間に追い立てられるのはしんどかった。

育児といっても家事全般をこなさなければならぬので、料理本を片手に奮闘しましたね。



（左から中川さん、檀上さん、青木さん、亀山さん）

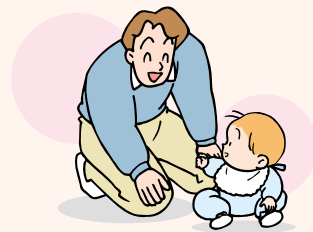
職場の理解もあり、育児休業を取得した皆さんですが、妻と夫が同時に取ることができないなど、現在の育児休業制度には不備も感じています。財政支援を含めた公的な制度の充実を望みながらも「子どもにとっては一生のスタート。父親になるという意味で子どもにしっかり寄り添う時間は大切です」と力を込められました。（取材：情報コーナー 小林）

### 育児疲れを身をもって体験

**青木** 第1子が11カ月から12カ月の間、利用しました。もともと料理、洗濯なども日常的にやっていたので、料理番組を楽しんだりして、家事に関しては全く苦にはなりません。ただ最初の2週間くらいは楽しかったのですが、最後の1週間は『これが育児ノイローゼか!』と思うくらい疲れました。1カ月だったから良かったのか、とも思います。



青木 弘人 さん



ファミリーフレンドリー企業とは……

仕事と育児・介護とが両立できるような様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取組を行う企業

今年度の表彰理由

- 出産者のほとんどが育児休業を取得し、復職率も高い。
- 保育料の補助などの制度がある。
- 育児・介護休業制度などを利用しやすい職場環境づくりに努めている。

ファミリーフレンドリー企業表彰についてのお問い合わせは、岡山労働局雇用均等室（☎086-224-7639）へ



## 平成17年度 岡山県男女共同参画社会づくり表彰 [11月21日]

男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が顕著である個人及び事業者をたたえる表彰式が県庁で行われ、石井岡山県知事から表彰状と記念品が贈られました。受賞者は次のとおりです。

### ●個人の部

(50音順 敬称略)

氏名	住所地	功労者としての役職
小林比禮子	岡山市	岡山県男女共同参画審議会副会長
塩田 純子	笠岡市	笠岡地域女性団体連絡会会長
正保 正恵	岡山市	岡山市男女共同参画専門委員会委員長
鈴木 孝子	備前市	岡山県婦人協議会評議員
坪井登美子	玉野市	玉野市婦人協議会会長
林 順子	岡山市	岡山市男女共同参画社会推進センター運営委員会委員長
村上 輝子	新見市	にいみフォーラム顧問
吉田しをり	倉敷市	イーブくらしきネットワーク運営委員



### ●事業者の部

事業者名	主な取組内容
オーティス(株) (真庭市) 精密部品加工	育児休業や短時間勤務制度などを利用しやすい環境づくりに努めるとともに、女性の管理職登用や職域拡大を進めている。

## 絵てがみコンテスト 表彰式と記念講演会

12月13日開催

男女共同参画をテーマに募集した「絵てがみ」の表彰式が行われました。応募総数369点の中からウイズ大賞4点、ウイズ賞10点が選ばれました。

### ●入賞作品



「夫へ」  
稲家和子さん (久米郡美咲町)



「働く母親へ」  
小林愛子さん (高梁市)



「夫へ」  
杉山 莉絵さん (倉敷市)



「自分へ」  
本田久美さん (岡山市)



「子どもたちへ」  
香川美紗子さん (倉敷市)



「家族へ」  
河嶋妙子さん (岡山市)



「ごうさんへ」  
柴田美奈さん (田原郡田原町)



「世の男性へ」  
鷹家智恵美さん (倉敷市)



「世の中の男性・女性へ」  
土屋浩子さん (倉敷市)



「若い夫婦へ」  
山田まみさん (倉敷市)



「夫へ」  
山田まみさん (倉敷市)



「夫へ」  
山田まみさん (倉敷市)



「夫へ」  
元浜篤子さん (瀬戸内市)



「役員候補の女性へ」  
森山徳国さん (倉敷市)

### ●記念講演会

#### 「誰もが輝ける未来を」

講師 **ながた もえ** 永田 萌さん (イラストレーター・絵本作家)



金子みすゞさんや、いわさきちひろさんの時代から女性達が頑張ってきた道の上を、私たちは歩き続けることで次の世代に繋いでいくことが、大切ではないかとお話しがありました。また、ご自身が描かれたアンデルセン童話の挿絵のスライドを見ながら絵本の朗読をされました。そして、物語というのは、見方、読み方、いつ、それに出会うかによって、隠されていた沢山のメッセージを届けてくれるのだと結ばれました。

## 講座報告

### 起業家応援セミナー 10月5～7日開催



「夢を実現したい」「もう一度チャレンジしたい」という思いを持った女性たちが、起業という夢の実現に向けて熱心に受講しました。「ビジネスとして成り立てて、納税と雇用をお願いしたい」という話から始まり、「来年4月から新会社法が施行され、資本金が少なくても会社が設立

講師 **ふるかき** 古垣みゆきさん (株式会社西日本ジャテックス)

き、事業を始める準備をするには今がチャンス」という明るい話に元気づけられました。「創業の基礎知識」「経営と財務」「マーケティングと販売戦力」などの講義やグループワークで自分のビジネスプランをまとめ、最後にプレゼンテーションをして、受講した仲間の意見をもらいました。

●男女共同参画ゼミナール(津山地域)

男女共同参画社会を実現するための人材を養成するゼミナールを岡山市に続き、津山市においても開催しました。

開催日	講義名	講師
9月2日(金)	男女共同参画の現状と県の施策 男女共同参画の推進について	岡山県男女共同参画課長 益田佐和子 岡山県副知事 内野 淳子
9月16日(金)	ジェンダーへの気づき 伝達力のトレーニング	香川大学教育学部長 加野 芳正 ㈱バインスパーソナル代表取締役 平澤 知穂
10月1日(土)	高齢社会における男女平等 ～高齢者虐待調査から考える～ ※"リプロダクティブヘルスライツ"ってなあに～あなたの生・性を大切にしていますか?～	広島文教女子大学人間科学部助教授 吉田あけみ ウイメンズセンター岡山 林 順子
10月13日(木)	社会の中で自分らしく ※DVの子どもへの影響～実践の現場から	岡山大学大学院(農学部)教授 小松 泰信 おかやま犯罪被害者サポート・ファミリス代表 弁護士 川崎 政宏
10月26日(水)	グループ運営とネットワークづくり	さんかく岡山企画調整監 真邊 和美
11月4日(金)	※メディアの中の男女平等 ～情報を読み解き、活かし、発信しよう!～ 職場における男女平等	メディアウォッチング香川元代表 宮脇 初恵 岡山労働局雇用均等室長 熊田 彰

市町村長や地域男女共同参画活動推進センター運営委員長から推薦を受けた方達が、男女共同参画に関する最新の情報や基本となる考え方など、今後の活動の基礎となる知識を学びました。また、公開講座とした3講義にも一般の方が参加されて、男女共同参画について学びました。

※は公開講座

●ウィズカレッジ

●ライフアップ講座 [10月30日開催]

講演「本のであいと人のであい」

講師 <sup>しみずかつよし</sup> 清水克衛 さん (NPO法人読書普及協会理事長)

いい本だからと人に薦めたら「感動した」「人生観が変わった」とか言われ、本の素晴らしさで人の心に灯をともし協会を立ち上げた本屋さん。「啓発録」(橋本左内著)より、不安、悩みは生きているときも「笑顔、自信、まず人を喜ばす、勢い」人には力があって本にもすごい力がある。人から薦められた本は、周りの方に“この本いいよ”と伝えてあげる。壁にぶつかった時、ピンチはチャンス、本と人との出会いから自分の力で歩いていけるコツを教わりました。



●津山さんさん塾 [11月6日開催]

ワークショップ  
“おこづかい大作戦”～家族で学ぶ金銭教室～

講師 <sup>まつださとみ</sup> 松田里美 さん (ファイナンシャルプランナー)

津山男女共同参画センター「さん・さん」との共催で、小学生と保護者が、身近なおこづかいの話を通じて社会や経済のしくみについて学びました。ゲーム感覚で楽しみながら金銭感覚を養ったり、目標をもっておこづかいを貯める・使うことを親子やみんなで話し合いながら、将来のライフプランについても考えました。



クリスマスライブ

[12月10日開催]

ステキな音楽を聞いて楽しいひとときを過ごしました。

出演者：オカリナ・フレンズ (オカリナ)  
OZAKI UNIT (バンド)  
スイートハーモニー (大正琴)  
レインボウ・ヴォイセス (コーラス)



メディアからの発信 ● vol.7

メディアの特性を活かして

岡山エフエム放送編成制作部 <sup>かたやま</sup> <sup>みき</sup>  
(FM岡山) 片山 美紀 さん



FM岡山で、地域情報や音楽をたっぷりお届けする朝のワイド番組「フレッシュ・モーニング・オカヤマ」(月・火)を担当しています。番組も私も地域の方々に育てていただき、もう7年ほど続いています。

私はいわゆる団塊ジュニアの世代。小さい頃はまだ女性だからと制約されることも多かったと思うのですが、自分が大人になる頃には、女性の生き方の選択肢はずいぶん広がっていました。人生の先輩方の努力によるものと感謝しています。

けれど自由になったら、次に立ちはだかったのが少子化の問題。世代的にはここで当事者になりました。女性にとって、社会人としてのキャリアと、結婚・出産・子育てを両立させるのは簡単なことではありません。残念ながら、まだまだそのた

めの環境が整っているとは言い難いと思います。思いのままに生きる自由をもらい受けた私たちの世代は、次の世代に、安心して子どもを育てることができる社会を手渡すのが、その役目ではないかと思っているのですが、ここ数十年で社会が大きく変わったように、不可能なことではないと信じています。

メディア、すなわち“媒体”という言葉の意味は、この仕事についてからより深く理解できるようになったのですが、メディアから発信する情報にはその時代固有の価値観や方向性が反映されていることがあると思います。特にラジオというメディアは、リスナーからリスナーへ音声だけでつないでいくコミュニケーション・ツールだ、と私は考えているのですが、パーソナリティというひとりの個性を介して、みなさんの思いや主張を届けることが可能です。ですから、あなたの声をどんどん届けてください。また、私自身も先に述べたようなことを常々強く思っており、番組の中でも折りにふれお話できることがあるかと思っています。小さなことかもしれませんが、次の世代に生きる方々のためにも、いい社会を共に築くのだというムードづくりを、今のパーソナリティの仕事を通して実現できるならたいへん嬉しいことです。



受講生募集

●ウィズカレッジ【受講料無料】

●企画講座

重度脳障害の娘を授かった母「ナミねえ」。中卒、離婚、震災で家が崩壊……大きなハンディをものともせず、「障害の有無に関わりなく誰もがいきいきと働ける社会」の実現を目指して東奔西走するパワフルなナミねえからあなたも“大きな元気”をもらいませんか。

講演：「ラッキーウーマン ～マイナスこそプラスの種!～」

日時：1月28日(土) 13:00～

会場：ウィズセンター

講師：<sup>たけな</sup>竹中ナミさん（プロップ・ステーション理事長）

募集人数：100名

申込期限：1月25日(水)まで



●ウィズエンパワーメント講座

男女共同参画を進める上で必要な専門的な知識を学んでいただく講座です。

予定

日時：2月18日(土) 13:00～

会場：ウィズセンター

講師：<sup>おさむのり</sup>岡澤憲夫さん（早稲田大学社会科学部教授）

募集人数：100名

●女性のチャレンジ支援講座  
チャレンジトーク

女性が様々な分野へ進出し活躍する、きっかけづくりやステップアップのための講座です。

予定

日時：3月11日(土) 13:00～

会場：ウィズセンター

講師：<sup>やまもとゆか</sup>山本有花さん（カリスマトレーダー）

募集人数：100名



問い合わせ  
申し込み先

受講を希望される方は、①住所、②氏名、③電話番号、④講義名を電話、FAX、ハガキ、Eメール（danjo@pref.okayama.lg.jp）で、ウィズセンターまでお知らせください。ウィズセンターのホームページからもお申し込みいただけます。（<http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/>）

ウィズライブラリー

・・・ご存知でしたか？ 雑誌コーナー・・・

ウィズセンターでは20種類の雑誌を定期購読しています。（最新号以外は貸出できます）

- \*共同参画21（ぎょうせい）〈隔月刊〉
- \*女性展望（財団法人市川房枝記念会）〈月刊〉
- \*We learn（財団法人日本女性学習財団）〈月刊〉
- \*私たちの21世紀（アジア女性資料センター）〈季刊〉
- \*女性情報（パド・ウィメンズオフィス）〈月刊〉
- \*セクシュアリティ（エイデル研究所）〈季刊〉



- \*世界と人口（財団法人ジョイセフ）〈月刊（年10回）〉
- \*ウィメンズブックス（ウィメンズブックストアアージュ）〈季刊〉
- \*婦人公論（中央公論社）〈月2回刊〉
- \*アエラ（朝日新聞社）〈週刊〉
- \*クロワッサン（マガジンハウス）〈月2回刊〉
- \*My Forties（主婦の友社）〈月刊〉
- \*ゆうゆう（主婦の友社）〈月刊〉



- \*子ども論（クレヨンハウス）〈月刊〉
- \*クーヨン（クレヨンハウス）〈月刊〉
- \*暮らしと教育をつなぐ We（フェミックス）〈月刊〉
- \*女も男も（労働教育センター）〈季刊〉
- \*女性としごと（労働大学出版センター）〈年2回刊〉
- \*日経ウーマン（日経ホーム出版社）〈月刊〉
- \*ヒューマンライツ（解放出版社）〈月刊〉



表紙写真

今年度の表紙の写真は、平成16年度に実施したフォトコンテストの優秀賞4作品を順次掲載しています。今回は、「女性の少ない職場での活躍」をテーマに選ばれた作品です。

## センター施設の利用について

— シリーズ No.2 —

### ◇ 便利です 作業室編 ◇

★男女共同参画に関するチラシや冊子等の作成に作業室をご利用いただけます。

- 印刷機、裁断機、紙折機、封かん機を無料で利用できます。
- 作業室の利用を希望される時は、「作業室・付属品使用申請書」に記入してください。
- 印刷する用紙はご持参ください。

▶ 作業室

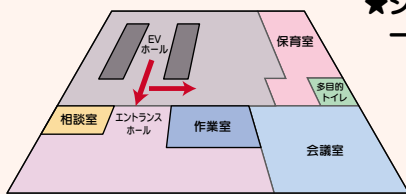


### ◇ 気軽に安心してどうぞ 保育室編 ◇

★ショッピング、ちょっと一息などの際に乳幼児の一時預かりを行っています。

- 預かり日時：土曜・日曜・祝日  
(月曜日及び年末年始を除く) 11時～17時
- 利用料金：預かり時間3時間まで500円です。
- 予約受付：(平 日) 9時～18時 086-226-3034 (横ポストメイト)  
(土曜・日曜・祝日) 11時～17時 086-235-3307 (ウィズセンター保育室)

◀ 保育室



## ウィズセンターの紹介

男女共同参画社会とは、男女の人権が等しく尊重され、お互いが支えあい、利益も責任も分かちあえる、いわば、女性と男性のイコール・パートナーシップで築き上げるバランスのとれた本常に豊かな社会です。ウィズセンターはこうした男女共同参画社会づくりを推進していくための施設です。

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>情報提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書・ビデオの貸出</li> <li>● 人材情報・各種団体の活動情報の提供</li> <li>● 男女共同参画に関する資料の閲覧</li> </ul> | <p><b>就業支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 就業相談</li> <li>● 就業に役立つ講座の実施</li> <li>● 就業に関する情報の提供</li> </ul> |
| <p><b>各種講座</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 男女共同参画に関する各種講座の開催</li> </ul>   | <p><b>交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種団体へ活動・交流の場と機会を提供</li> </ul>                                   |
| <p><b>相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性の相談員による様々な悩みの相談</li> <li>● 弁護士・医師による相談</li> </ul>                            | <p><b>広報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報誌の発行 (年4回)</li> <li>● メールマガジンの配信 (毎月)</li> </ul>              |

DV防止法に基づく「配偶者暴力相談支援センター」としてDVに関する相談や情報提供を行っています。

### ● ウィズセンター職員の一とこと ●

ウィズセンターに勤務して2年目です。担当しているキャリアアップ講座、起業家応援セミナー、男女共同参画ゼミナールで、受講されている皆さんの熱意をひしひしと感じて、どんな講師や講義をお願いしたらいいか日々勉強の毎日です。「With」の編集では編集委員さんの意見を聞きながら読み応えのある紙面づくりができたかと頑張っています。(本田)

センター勤務も半年を過ぎましたが、早番・遅番、土曜・日曜出勤と、手帳が欠かせない日々を過ごしています。チラシやポスター作成などのさまざまな機材の操作にもだんだんと慣れてきて、あとはどう使いこなすか！そして、ベテラン相談員や情報交流員など職員皆さんのお知恵をお借りしながら、悪戦苦闘の毎日です。(岡野)

## ウィズセンター利用のご案内

- |            |   |
|------------|---|
| 開館時間       | 火～土曜日 / 9:30～20:00<br>日・祝日 / 9:30～17:00   |
| 休館日        | 月曜日及び年末年始   |
| 相談員による     | 一般相談 火～土曜日(祝日を除く) / 9:30～17:00<br>就業相談 (受付は16:30まで)   |
| 特別相談 (予約制) | 弁護士による法律相談 / 原則第2・4金曜日<br>医師によるこころの相談 / 原則第1・3金曜日<br>医師によるからだの相談 / 原則第1土曜日                          |
| 電話         | 086-235-3307 (代表)<br>086-235-3310 (一般・特別相談)<br>086-235-3309 (就業相談)                                  |
| ホームページ     | <a href="http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/">http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/danjo/</a> |



交通案内  
岡山駅から徒歩10分  
バス / NTT岡山前下車すぐ  
天満屋バスターミナルから徒歩2分  
市内電車 / 郵便局前下車すぐ

センターへのご意見はご遠慮なくハガキ・FAX・Eメールまたはセンターの提案箱へ

**ウィズ冬号 (vol.35)** 2006年1月発行  
編集・発行 / 岡山県男女共同参画推進センター (ウィズセンター)  
〒700-0821 岡山市中山下1-8-45  
NTTクレド岡山ビル17F  
TEL (086) 235-3307(代) FAX (086) 235-3306  
Eメール: danjo@pref.okayama.lg.jp